

令和3年度 体力等調査の結果について

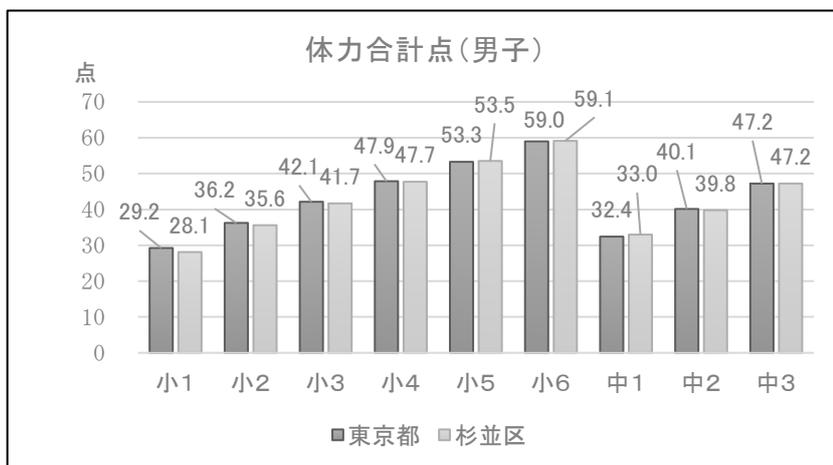
令和3年度に実施された体力等調査の結果について、杉並区立小・中学校の結果を報告する。

1 体力等調査の概要

実施	東京都教育委員会
名称	令和3年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査
目的	東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活運動習慣等の実態を把握・分析することにより、その改善を図るとともに、これらの取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
対象（方式）	都内公立学校の全児童・生徒（悉皆）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体力・運動能力に関する調査 ⇒握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルランまたは持久走、50m走、立ち幅とび、ハンド（ソフト）ボール投げ ・生活・運動習慣等に関する質問紙調査
調査時期	令和3年6月

2 調査結果の概要

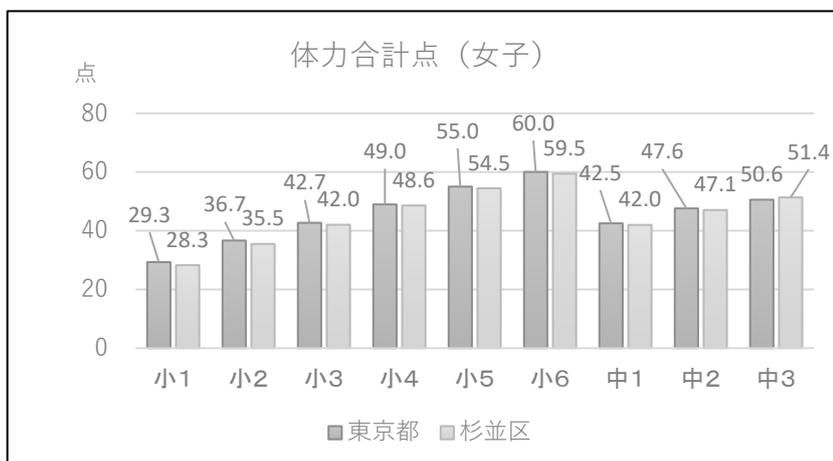
(1) 令和3年度の「体力合計点」



【体力合計点】

体力合計点とは、上記調査項目の記録を得点換算し、全ての得点を合計したものである。

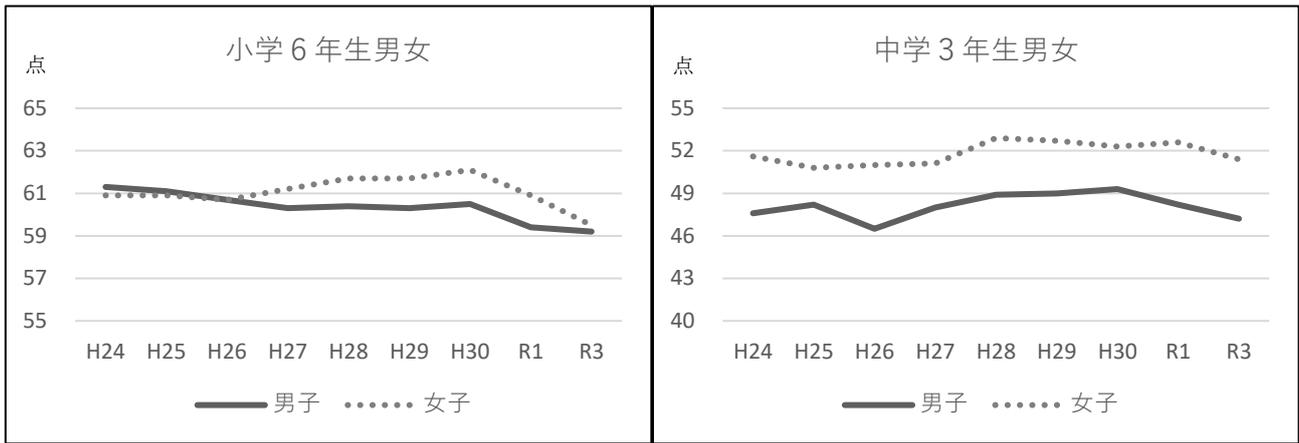
※小学校と中学校では得点換算方法が変わるため、小学校と比較すると中学校の数値が下がる。



左図より、杉並区立学校の小・中学生の体力合計点平均値は、男子は小学校第5・6学年、中学校第1学年について、女子は中学校第3学年について、東京都の平均値を上回った。

全体としては、男女ともに東京都の数値とほぼ同値と捉えることができる。

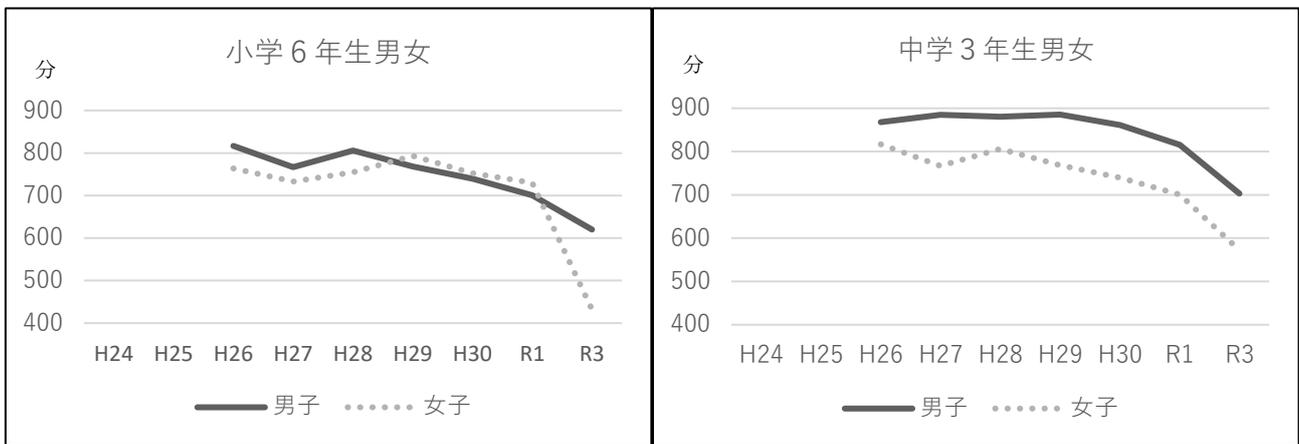
(2) 「体力合計点」の推移（平成24年度から令和3年度）



※令和2年度は、実施していない（以下（3）も同様）。

(3) 「1週間の運動時間（平均）」の推移（平成26年度から令和3年度）

（学校の保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを行う時間）



※平成24年度及び25年度は、曜日ごとの運動時間を問う設問がなかったためデータなし。

3 結果の考察及び今後の取組

(1) 結果の考察

- ・体力合計点については、やや低下した。
- ・運動やスポーツをする時間が減少した。

→新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、学校内外の活動が制限されたことで、体育の授業以外での体力向上の取組が減少したことが影響していると考えられる。しかし、これまでの学校での取組が一定程度の役割を果たし、体力の大きな低下を防ぐことができたと考えられる。

(2) 今後の取組

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ、自己の体力の課題を捉えやすくするような教材・教具の工夫や、学校内にある固定遊具を利用した運動環境づくりなど、できることから実施していく。
- ・教育委員会においては、*体力づくり教室の実施を継続するとともに、各校で取り組んでいる発達段階に応じた「体づくり運動」に係る指導事例についての情報発信等を通して、低学年段階からの体力向上の取組について質を高めていく。*体力づくり教室：運動の楽しさや技術を専門家から学ぶ小学生を対象とした事業。
- ・児童・生徒が、体力や生活習慣に係る課題について自ら解決していく態度を育成するために、学校においては、養護教諭や栄養士、外部人材と連携した指導など、専門性を生かした取組を行っていく。また、保護者と連携した食育、健康教育を更に充実させることで、体系的に体力の向上を図る。